

在日大韓基督教会
宣教100周年標語

감사의 백년, 희망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)



THE GOSPEL NEWS

9月1日(火) <2009年> 第679号

発行所 福音新聞社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18

電話03(3202)5398番

発行人 鄭然元・編集人 朴寿吉

毎月1回1日発行 購読料1部100円

昭和38年9月20日 第3種郵便物認可

印刷所・青丘文化社

Tel.047-495-2555 Fax.047-432-7912

全国連合長老研修会開催

京都に48名集め、4人の長老の発題もとに討論



2009年度の全国連合長老研修会は7月19・21日、ホテル京都エミナースにおいて48名が参加して行われた。その中に表基秀名長老(宇部)、安東政名長老(熊本教会)の元氣な姿もあった。また全国女性会も60周年記念大会が終った忙しい時期にもかかわらず参加していただいた。

開会礼拝を金世榮長老(大阪)より「とりなしの祈り」と題しメッセージを受けた後、第1回講演として金秀雄長老(オンスリ)「未来指導者の徳目」(テモテ14・10・16)と題して話された。引き続き朴慶鎬長老(姫路聖水教会)による「2009年の道」と題して発題があった。

協 夏季修養会開催 全 第60回記念開催に87名が参加

その後、林芳子長老(大阪)による「魅力ある総会へ」と題する発題の後、4つの分団に分かれて討議をした。金秀雄長老(大阪)の司会で全体討論を行い、活発な意見交換がなされた。

閉会礼拝では、崔榮信牧師(宇部)より「アンデレとフィリポ」(ヨハネ12・20・26)と題したメッセージがあった後、崔榮信牧師の祝辞をもって閉会した。

「在りのままの自分を愛する。未来の夢を愛するとき奇跡は創られる」と題した力強いメッセージを聞いた。その後「外国人在留管理制度」の法改正について金耿昊青年(横須賀)を中心に勉強会が行われた。これは在日大韓教会に通う私たち自身に関わる問題であり、このまま見過ごすわけにはいけない問題信徒であることを再認識させられた。そして真に平和な世界の実現に向けて祈ること、真実を知ること、行動することの大切さを感じた。

三日目には聖書・信仰・教会を考えるプログラムが行われた。一人ひとりが自分と向き合い「わたしにとって、神様は」、教会は「...」などの項目に自分の考えを書き込んだ。それを隣の人とペアになりお互いに発表し、その後、世代別の10人ほどのグループに分かれ、「わたしたちの世代が、教会に対して望むこと、で

委員(長)より「命の力湧くところ」と題して閉会礼拝が行われ、60回目の夏修養会の中で修了した。そして最後に全員で輪になり、一人ずつ手をとって別れに涙し、再会を誓い合った。美しい野尻湖が広がる場所、全国の在日大韓教会につながりを持つ多様な青年たちが出会い、同じ時間を共有できたことを、私たちの父なる神様に感謝し、また、いつも温かく私たちを愛する神様に感謝した。最後は、参加者全員が一言ずつ4日間をふりかえり感想や学びを共有した。その後、金必順牧師(信徒)

二日目に入り、金必順牧師(全国女性会)による早天礼拝「どん底の回心」と題しメッセージがあり、朝食会を終えた後、第2回講演が金秀雄長老より「火種になりましょう」(ルカによる福音書12・49)と題し、力強いメッセージを聞いた。

8月12・15日、記念すべき第60回目の全国青年夏季修養会が長野県野尻湖レイクハウスにて開催された。全国各地から集まった参加者は途中参加者も含め総勢87名、近年の青年修養会の中では最多人数であり、なかでも初参加者が4割を占めていたことは、この1年、「99の想いと1へのアプローチ」を主題に掲げ活動してきた全協にとって、大きな喜びであった。また、若い牧師や神学生も多

く参加し、多くのクリスト者青年との出会い、またそこで学びはとも豊かに、主に感謝する恵まれた3泊4日であった。

初日は、開会礼拝において金智一牧師(名古屋)よりメッセージをいただき大きな励みを得た。その後、金榮民代表(大阪)から2008年度の主題「99の想いと1へのアプローチ」、副題「KCCJ宣教2世紀目の担い手として、その大きな可能性のなかで」を振り返り、宣教200年に向かう在日大韓基督教会の今後の宣教の基盤に「霊性」がなくてはならない、と強調された。

尹宗銀牧師は、総会の神学は「合同の教会」であるが、その教会の制度は「長老制」であり、憲法・信条・聖経要理問答を制定したと述べて、その総会神学を形成しようとして4年前に韓国語・日本語両国語で「聖書教理問答」(教理編と実践編)を出版した経緯を説明した。

講義の後の質疑応答には、長老制など総会の神学や組織に関する問いがあり、最後に、総会に対する助言と期待と感謝が述べられた。

委員(長)より「命の力湧くところ」と題して閉会礼拝が行われ、60回目の夏修養会の中で修了した。そして最後に全員で輪になり、一人ずつ手をとって別れに涙し、再会を誓い合った。美しい野尻湖が広がる場所、全国の在日大韓教会につながりを持つ多様な青年たちが出会い、同じ時間を共有できたことを、私たちの父なる神様に感謝し、また、いつも温かく私たちを愛する神様に感謝した。最後は、参加者全員が一言ずつ4日間をふりかえり感想や学びを共有した。その後、金必順牧師(信徒)

KCCJ歴史講座開催

「宣教100周年と神学形成」テーマに講演会

7月24日午後6時からKCCJ歴史講座が歴史編集委員会と在日大韓基督教会館(KCC)の共催で、KCCにおいて開催された。後援の在日大韓基督教会関

今年のプログラムは二部構成で、まず「在日大韓基督教会宣教100周年史」のDVDの上映があり、引

き続き「在日大韓基督教会宣教100周年と神学形成」のテーマで講師の尹宗銀牧師の講演と質疑応答がなされた。

尹宗銀牧師は、在日大韓基督教会の100年の歴史の神学形成を牧師の経験から分析するといふ特徴があるとの説明があった。

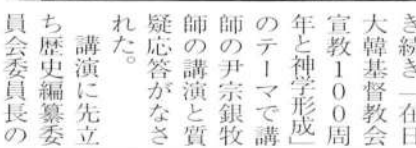
金秀雄長老による講師紹介とともに、今回の歴史講座はKCCJの神学を総会所属の牧師から分析するといふ特徴があるとの説明があった。

尹宗銀牧師は、在日大韓基督教会の戦後再組織された時、その骨格になるものは「教会憲法」「信条」「聖経要理問答」であった。わたしが開拓した教会が2カ所(広島教会・西宮教会)と牧会した教会が2カ所(堺教会・横浜教会)として組織では総会長、二つの地方会長と教育局長を歴任した。その間、霊性の立場で最善をつくしたこと

を振り返り、宣教200年に向かう在日大韓基督教会の今後の宣教の基盤に「霊性」がなくてはならない、と強調された。

尹宗銀牧師は、総会の神学は「合同の教会」であるが、その教会の制度は「長老制」であり、憲法・信条・聖経要理問答を制定したと述べて、その総会神学を形成しようとして4年前に韓国語・日本語両国語で「聖書教理問答」(教理編と実践編)を出版した経緯を説明した。

講義の後の質疑応答には、長老制など総会の神学や組織に関する問いがあり、最後に、総会に対する助言と期待と感謝が述べられた。



講演に先立ち歴史編集委員会委員長の

尹宗銀牧師は、在日大韓基督教会の100年の歴史の神学形成を牧師の経験から分析するといふ特徴があるとの説明があった。

尹宗銀牧師は、総会の神学は「合同の教会」であるが、その教会の制度は「長老制」であり、憲法・信条・聖経要理問答を制定したと述べて、その総会神学を形成しようとして4年前に韓国語・日本語両国語で「聖書教理問答」(教理編と実践編)を出版した経緯を説明した。

講義の後の質疑応答には、長老制など総会の神学や組織に関する問いがあり、最後に、総会に対する助言と期待と感謝が述べられた。

尹宗銀牧師は、総会の神学は「合同の教会」であるが、その教会の制度は「長老制」であり、憲法・信条・聖経要理問答を制定したと述べて、その総会神学を形成しようとして4年前に韓国語・日本語両国語で「聖書教理問答」(教理編と実践編)を出版した経緯を説明した。

講義の後の質疑応答には、長老制など総会の神学や組織に関する問いがあり、最後に、総会に対する助言と期待と感謝が述べられた。

尹宗銀牧師は、総会の神学は「合同の教会」であるが、その教会の制度は「長老制」であり、憲法・信条・聖経要理問答を制定したと述べて、その総会神学を形成しようとして4年前に韓国語・日本語両国語で「聖書教理問答」(教理編と実践編)を出版した経緯を説明した。

WCCユースインターンシップのご案内

主の御名を賛美します。WCC(World Council of Churches: 世界教会協議会)より、下記のようなインターンシップ・プログラム参加者募集の案内が届きましたのでご案内いたします。WCCからの案内の抜粋ですので、詳しくは、後記のインターンシップ募集のホームページをご覧ください。

- 記
- 目的: 教会につながる青年の専門的スキル並びに能力の育成。各国、各地域におけるエキュメニカル運動の活性化
 - 期間: 2010年2月~2011年1月までの1年間
 - 募集対象: 下記を全て満たす方が望ましいです。
 - ①上記インターン開始時に18歳~30歳である者
 - ②英語で仕事が可能なる者
 - ③コンピューターを使っている仕事が可能なる者
 - 募集定員: 下記領域に各1名ずつ(計5名)

- 募集領域: ①国際エキュメニカル平和会議 ②青年とエキュメニカル・ネットワークの形成 ③ビクタープログラム/メディア関係 ④宣教と福音 ⑤エコロジーと社会的正義
 - 資料請求: インターンシッププログラムに関する詳細並びに願書は、下記のウェブサイトからご入手下さい。→ WWW.ecumenicalyouth.org
 - 出願先: 日本キリスト教協議会(日本キリスト教協議会にて、願書を元にした面接を行います) 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-24 (郵送の場合) E-MAIL: general@ncc-j.org (メール添付の場合)
 - 出願期限: 2009年9月20日
 - お問い合わせ: その他、日本語での質問、お問い合わせは下記までお願いいたします。 Tel:03-3203-0372 Mail:zen@ncc-j.org (担当:小池)
- 2009年8月21日 日本キリスト教協議会 事務局

¥ 14,490	¥ 11,592
----------	----------

カルビクッパ、コムタン、ユツ
ケジャン、韓定食、洋食
(全メニューコーヒー付き)

03-0611 FAX 03-3233-0633

01-0781 FAX 06-6981-0782

会 区
地 方
東 部
東 部

合同夏季聖經学校開催

初 試 図 4 教会 44 名 参加

今年 7 月 26 日(主日)と 27 日(月)、合同夏季聖經学校「日光オリブの里」에서 44 名이 참가하였다. 이번 행사는 매년 회가 연합하여 여름성경학교를 실시하였다. 참가자를 실시해 오던 西新井教会, 동부지역에 위치한 교회들과 개회 연함으로 실시해 보자는 제의에 의하여 이루어졌다. 연초부터 계획이 되어 있던 교회들을 제외한 교회를 제외하고 회에서 참가한 학생들과 선생님과 청년, 그리고 집사들은 각자의 역할과 봉사를 충실히 감당해 주었다. 이 행사를 위하여 개교회에 소속되어 있는 신학생들이 모여서 모든 행사의 기회와 준비를 해주어 매우 원활하고 재미있는 연합성경학교가 되었다. 신학생들은 「모세」라는 주제 하에 모든 학생들을 대상으로 참예할 수 있도록 함양을 위한 3곡으로 정하여 참가자들이 계속 반복적으로 찬양함으로써 참가 학생들의 영성에도 부족함이 없도록 배려하였다. 각 교회는 東京基督教會와 西新井教会에 지원하여 버스를 타고 가는 도중에 기도와 함께 반복하여 찬양을 하였다. 가장 즐겨 부른 찬양은 「예수 사랑하심은」(411장)이었다.



현지에 도착한 후 동시 교회별로 방을 배정받았으며, 곧바로 개회예배와 찬양을 하였다. 산 속이라 그런지 갑자기 쏟아지는 비로 인하여 미리 준비해둔 캠프파이어를 정리하였다. 다시 설치하는 해프닝도 있었다. 하지만 기적적으로 비가 그쳐, 모두가 찬양과 게임을 통한 재미있고 신나는 한 때를 보내게 되어 처음에는 학생들에게 개회 중점으로 모여서 머뭇거리던 분위기도 웃으며 친숙하게 되는 계기가 되었다. 찬양과 교제로 마음을 통일한 후 온 마음을 쏟은 뒤에 찢소와 찢는 체험(乳搾り)을 하였다. 찢소를 찢는 것은 유유로 치즈를 만들어 먹는 등의 여러 체험을 하는 학생들의 응원과 「목사님, 왜 1박만 하나?」라는 하루더 해요! 라는 학생들의 목소리가 아직도 귀에 맴돌고 있다.



이벤트 실시한 연합회를 성공회교를 통하여 모회적 공유와 개교회간의 연대의 중요성을 새삼 확인하게 되었다. 교회 재정의 어려움과 학생들의 수가 적은 관계로 개회가 독자적으로 여름성경학교를 개최하기 힘든 상황에서 교회와 교회가 서로 연합하고, 교제하고, 격려하고, 공유하게 된 것이다. 이것은 우리 재일대한국교회의 특징인 연합성과 다성성 그리고에 큐멘티컬성을 연합의 현장에서 확인하고 느끼게 되는 은혜스럽고 귀한 체험이었다고 평가할 수 있겠다. (報告: 조영선 목사)

3 名の長老將立式舉行

同時に勸士就任式等も行う

大阪教会

大阪教会では今年も指導者たちが誕生した。

去る5月10日、禹鍾碩・吳榮一・鄭洪權執事の長老將立式と、宋英姫・趙孝媛・金惠淑執事の勸士就任式が行われた。



開会礼拝は、堂会長・鄭然元牧師の司会の下、金石水長老の祈禱、崔春子牧師の聖書朗読、シオン・ホサナ連合聖歌隊の

讃揚に続き、姉妹教会のソウル鸞梁津教会・姜信元牧師の「信仰の成長」という題目で説教があった。

続いて、関西地方会長の全聖三牧師司式による長老將立式が執り行われ、駆けつけた牧師・長老による挨拶の後、力強く宣布された。勸士就任式は、鄭然元担任牧師の司式で行われた。また、權宗赫長老、姜達弁・鄭宝潤執事の名譽推戴式も同時に行われた。

続いて鸞梁津教会ホーリプレイジャーズが高らかに讃美した後、任職者へは金武士牧師、教友へは股満ち溢れ、女性会が準備した

康世長老による勸勉が行われた。祝辞は、総会・朴珍烈牧師、地方会・李炳燾牧師、姉妹教会・金太男長老からいただいた。大阪教会の青少年によるグロリア吹奏楽団の演奏があった。

教会から任職者へは、記念品と記念品が贈呈され、任職者からは備品購入のための献金がさげられた。

다 함께 중보기도를 나눕시다!



[이와 같이 성령도 우리의 연합함을 도우시니 우리는 마땅히 기도할 바를 알지 못하나 오직 성령이 말할 수 없는 탄식으로 우리를 위하여 친히 간구하시니라](롬8:26)

사랑하는 복음신문 독자 여러분! 중보기도는 주 안에서 우리가 함께하고 더 나은 신앙의 삶을 살기 위한 우리의 헌신이며 나눔이며 사랑의 표현이라 할 것입니다. 일본에서 살아가는 모두가 주님 안에서 중보기도를 통하여 일치된 교제를 나누고자 합니다. 함께 기뻐하고, 함께 기도하고, 함께 위로하고자 하는 여러가지 소식을 복음신문 편집부로 보내주세요.

1. 자기가 잘하는 언어로 써 주세요.
2. 메일로 연락 주세요.
3. 중상 비방 등은 금물입니다.

福音新聞社 e-mail: kccj@kb3.so-net.ne.jp

學習・洗礼準備勉強小冊子(改訂版)

- 韓国語と日本語の両方があるから、便利
 - 現代式表現だから、分かりやすい
 - 項目ごとに聖書箇所があって、使いやすい
 - 文字が大きく、内容も充実
 - 安いから、日々の伝道にも利用可能(1冊150円)
- ※お申込みは、総会事務局へ
電話: 03-3202-5398



韓日讃頌歌改訂版

韓国語と日本語で自由に讃美しましょう!

- 韓国語と日本語を見開き2ページに掲載(修正補完版)
 - 表紙カバーは3色(黒・紺・茶)
 - 1冊2,000円(他教団3,000円)
- ※お申込みは、総会事務局へ
電話: 03-3202-5398



医療法人 おりお心クリニック

院長 金 長 壽
(福岡中央教会 長老)

診療科目: 神経科 精神科 心療内科
精神保健相談 酒害相談

診療所: 〒807-0825 北九州市八幡西区折尾4-2-8
TEL (093) 603-3280
FAX (093) 603-7985
自宅: 〒813-0003 福岡市東区香住ヶ丘1-14-8
TEL・FAX (092) 672-9410

不動産管理 アルカンシェル名駅

李 光 世
(名古屋教会 長老)

〒453-0013 名古屋市中村区亀島2-2-27
電話・FAX 052-451-7713
携 帯 090-3578-7571
E-mail: kwangse.lee@nifty.com

株式会社 ニューキング 愛

取締役社長 李 鍾 善
(名古屋教会 長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)
三 愛 岡崎市大和町荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)

칼럼

우리教会에 어서 오세요!

<23> 東京中央教会 ①



일본의 수도 도쿄에 뿌리를 내린지 35년만에 단독 교회당을 마련하고, 교회 창립 35주년 맞이해 일본 선교를 위해 새로운 출발을 시작하게 하신 하나님께 영광과 찬송을 드립니다. 특히 한국에서 온 소위 뉴커머가 세운 교회로서는 동경에서 처음으로 단독건물을 갖게 되었다는 점에서 동경중앙교회 건축

동경중앙교회는 교회가 설립된 이후 계속해서 이곳저곳으로 옮겨 다니며 예배드리고 있습니다. 그중 에베레드와 일본에 세워진 교회까지 일본기독교회관(早稲田)에 있는 일본그리스도교단 회의실을 빌려

일본의 수도 도쿄에 뿌리를 내린지 35년만에 단독 교회당을 마련하고, 교회 창립 35주년 맞이해 일본 선교를 위해 새로운 출발을 시작하게 하신 하나님께 영광과 찬송을 드립니다. 특히 한국에서 온 소위 뉴커머가 세운 교회로서는 동경에서 처음으로 단독건물을 갖게 되었다는 점에서 동경중앙교회 건축

동경중앙교회는 교회가 설립된 이후 계속해서 이곳저곳으로 옮겨 다니며 예배드리고 있습니다. 그중 에베레드와 일본에 세워진 교회까지 일본기독교회관(早稲田)에 있는 일본그리스도교단 회의실을 빌려

일본의 수도 도쿄에 뿌리를 내린지 35년만에 단독 교회당을 마련하고, 교회 창립 35주년 맞이해 일본 선교를 위해 새로운 출발을 시작하게 하신 하나님께 영광과 찬송을 드립니다. 특히 한국에서 온 소위 뉴커머가 세운 교회로서는 동경에서 처음으로 단독건물을 갖게 되었다는 점에서 동경중앙교회 건축

동경중앙교회는 교회가 설립된 이후 계속해서 이곳저곳으로 옮겨 다니며 예배드리고 있습니다. 그중 에베레드와 일본에 세워진 교회까지 일본기독교회관(早稲田)에 있는 일본그리스도교단 회의실을 빌려

일본의 수도 도쿄에 뿌리를 내린지 35년만에 단독 교회당을 마련하고, 교회 창립 35주년 맞이해 일본 선교를 위해 새로운 출발을 시작하게 하신 하나님께 영광과 찬송을 드립니다. 특히 한국에서 온 소위 뉴커머가 세운 교회로서는 동경에서 처음으로 단독건물을 갖게 되었다는 점에서 동경중앙교회 건축

동경중앙교회는 교회가 설립된 이후 계속해서 이곳저곳으로 옮겨 다니며 예배드리고 있습니다. 그중 에베레드와 일본에 세워진 교회까지 일본기독교회관(早稲田)에 있는 일본그리스도교단 회의실을 빌려

일본의 수도 도쿄에 뿌리를 내린지 35년만에 단독 교회당을 마련하고, 교회 창립 35주년 맞이해 일본 선교를 위해 새로운 출발을 시작하게 하신 하나님께 영광과 찬송을 드립니다. 특히 한국에서 온 소위 뉴커머가 세운 교회로서는 동경에서 처음으로 단독건물을 갖게 되었다는 점에서 동경중앙교회 건축

동경중앙교회는 교회가 설립된 이후 계속해서 이곳저곳으로 옮겨 다니며 예배드리고 있습니다. 그중 에베레드와 일본에 세워진 교회까지 일본기독교회관(早稲田)에 있는 일본그리스도교단 회의실을 빌려

일본의 수도 도쿄에 뿌리를 내린지 35년만에 단독 교회당을 마련하고, 교회 창립 35주년 맞이해 일본 선교를 위해 새로운 출발을 시작하게 하신 하나님께 영광과 찬송을 드립니다. 특히 한국에서 온 소위 뉴커머가 세운 교회로서는 동경에서 처음으로 단독건물을 갖게 되었다는 점에서 동경중앙교회 건축



7월28일부터8월4일까지「第2回多文化・多民族共生キリスト者青年現場研修プログラム」が、外

外キ協 「第2回青年の旅」を実施

10名の青年が小倉からソウルを巡る

キ協主催のもとに実施された。これは日・韓・在日教会の共同プログラムとして5年計画で始められたものである。その2年目にあたる今年、各地外キ連および在日大韓基督教会・日本基督教団・日本聖公会などから10名の青年が参加し、ともに日・韓両国の歴史現場を巡り、また移住労働者たちの共生の実践をみつ

とどめようとする日本市民の熱意あるとりくみにもふれた。そして夕方には下関から関釜フェリーに乗り、韓国へ向かった。釜山に上陸した三日目には釜山近代歴史館・草梁教会・釜山民主公園をたずね、近現代史の流れとそのなかにおけるキリスト者の歩みを学び、また夕方には釜山キリスト教青年アカデミーと交流の時間をもった。

四日目は、釜山から水原・堤岩里へ移動。堤岩教会の姜信範牧師の説明から、また併設の歴史記念館の展示から、90年前、3・1運動とともに起きた虐殺事件についての学びを深めた。このちソウルへむかい、水原から現場を共に歩

いたEYCK・韓国キリスト教青年協議会」の青年たちと交流の時間をもった。五日目には、京畿道・広州のナムの家へ。併設の歴史館で戦時動員によって「慰安婦」の名のもとに性奴隷同然のあつかいを強要され続けた人々のことについて学んだ。その被害をうけた5名のハルモニたちと面会し、その証言にふれる時間をもった。

また夕方にはソウル・仁寺洞でソウル・キリスト教青年アカデミーと夕食を共にして、交流の時間を楽しんだ。六日目は、午前中、韓国で初めて外国人街が形成されたという仁川の市街を歩いた。富川・ソウル教会で礼拝をささげた。また午後には富川外国人労働者の家、そして安山の

「国境のないマウル」をめぐる、韓国の外国人移住労働者のおかれた状況を学び、外国人移住者の生活上の苦しみにつれ、また彼らとの共生への取り組みの中で新たな文化が創造されつつあることを学んだ。最終日である七日目には釜山において、前日に引き続き韓国における外国人移住者との共生の取り組みを学ぶ時間もち、公立学校の教育に適応しきれない移民の子どものためのアジア共同体学校や、外国人のための労働相談・医療サービス・シェルター運営実施・サークル活動などの活動を展開している釜山外国人労働者宣教会などの実践にふれた。

そして夕方には関釜フェリーに乗り、翌朝には無事に下関港に到着。すべて

「国境のないマウル」をめぐる、韓国の外国人移住労働者のおかれた状況を学び、外国人移住者の生活上の苦しみにつれ、また彼らとの共生への取り組みの中で新たな文化が創造されつつあることを学んだ。最終日である七日目には釜山において、前日に引き続き韓国における外国人移住者との共生の取り組みを学ぶ時間もち、公立学校の教育に適応しきれない移民の子どものためのアジア共同体学校や、外国人のための労働相談・医療サービス・シェルター運営実施・サークル活動などの活動を展開している釜山外国人労働者宣教会などの実践にふれた。

そして夕方には関釜フェリーに乗り、翌朝には無事に下関港に到着。すべて

「国境のないマウル」をめぐる、韓国の外国人移住労働者のおかれた状況を学び、外国人移住者の生活上の苦しみにつれ、また彼らとの共生への取り組みの中で新たな文化が創造されつつあることを学んだ。最終日である七日目には釜山において、前日に引き続き韓国における外国人移住者との共生の取り組みを学ぶ時間もち、公立学校の教育に適応しきれない移民の子どものためのアジア共同体学校や、外国人のための労働相談・医療サービス・シェルター運営実施・サークル活動などの活動を展開している釜山外国人労働者宣教会などの実践にふれた。

そして夕方には関釜フェリーに乗り、翌朝には無事に下関港に到着。すべて

「国境のないマウル」をめぐる、韓国の外国人移住労働者のおかれた状況を学び、外国人移住者の生活上の苦しみにつれ、また彼らとの共生への取り組みの中で新たな文化が創造されつつあることを学んだ。最終日である七日目には釜山において、前日に引き続き韓国における外国人移住者との共生の取り組みを学ぶ時間もち、公立学校の教育に適応しきれない移民の子どものためのアジア共同体学校や、外国人のための労働相談・医療サービス・シェルター運営実施・サークル活動などの活動を展開している釜山外国人労働者宣教会などの実践にふれた。

そして夕方には関釜フェリーに乗り、翌朝には無事に下関港に到着。すべて

総幹事活動日誌

●会議・集会
○韓国で金漢範副総会長と100周年記念活動日時・7月15日
○日本プロテスタント宣教150周年記念大会日時・7月8・9日
○場所・横浜パシフィコ国立大ホール
○WCC中央委員会副議長ヘンドリクス博士歓迎会と講演会日時・7月10日
○場所・AVACO
○日本キリスト教会と宣教協力実務委員会日時・7月13日
○場所・総会事務局
○九州連合教会総会日時・7月15・21日
○場所・シドニー

●説教・講義
○東京中央教会・7月12日
○総会神学校・7月23日
○横須賀教会・7月26日
○東京福音教会・8月2日
○日本キリスト教会習志野教会・8月9日
○船橋教会・8月23日
○韓日議員連盟創立10周年記念礼拝日時・8月26日
○場所・東京教会
○総会神学校授会日時・8月31・9月1日
○場所・総会神学校

住所変更

●金漢範長老(東京教会)
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-1-16 電話090-3134-5901
●大阪栄光教会
〒557-0014 大阪府西成区天下茶屋3-23 ユーラクビル4階 電話06-6652-9191

第50回定期総会主題 「100年の信仰を継承し、希望の新しい一歩を!」(テトス3:7)

召集公告

在日大韓基督教会 第五十回定期総会
主として本総会 傘下 모든教会와 信徒들의 平安과 發展을 祈禱드립니다.
總会 憲法 第十三章 六十条、六十一條에 依拠하여 二〇〇九年度 本總会 第五十回定期總会를 다음과 같이 開催함을 公告합니다. 同時に 本總会 發展을 위하여 下記 事項에 대하여 貴教会와 總代들의 祈禱와 協力を 부탁드립니다.
記
(1) 第五十回定期總会
日時・二〇〇九年十月十二日(月) 午後一時~十四日(水) 午後二時
場所・京都教会
京都市右京区西院北矢掛町20番 〇七五(三一)一五〇五一
總代・①各地方会에 洗禮敎人 五十名當 視務牧師一名、視務長老 各一名、남은 數가 三十名을 넘을 때는 各一名씩 増員可
②宣敎負擔金을 完納한 敎會의 總代에게만 總代權이 付与됨
(2) 協力 부탁 事項
①各敎會는 宣敎負擔金을 納入해 주세요.
②特別指定獻金 未納分을 보내 주세요.
③總代의 宿泊費는 地方會나 個敎會에서 負擔해 주세요.
④各地方會는 總代名單과 獻議案을 보내 주세요. (九月六日까지)
⑤各地方會 및 各機關의 지난 一年間의 活動報告를 提出해 주세요. (八月三十一일까지)
二〇〇九年八月一日
在日大韓基督教會
總會長 鄭然元